

## 第3学年 英語科学習指導案

日 時 令和4年9月7日(水)第5校時  
指導学級 3年1組 27名  
指導者 林 知子

### 1. 単元名 杵築市英語ボランティアガイド参加希望の自己PRカードを書こう

(NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 Lesson 4 The World's Manga and Anime)

### 2. 単元設定の理由

#### (1) 教材について

本単元では、世界中で人気がある日本の漫画やアニメについて扱っている。フランスで毎年開催されているジャパン・エキスポの体験談や、漫画とアニメの記事が掲載された海外で発行されている日本のガイドブックを読む活動を通して、国・地域間における文化交流への関心を高めることができる内容となっている。

言語材料としては、関係代名詞（主格）を学習する。関係代名詞は、英語初学者である生徒たちにとって、難関な文法の1つである。この用法を理解し習得することによって、これまで2つに分けていた情報量の少ない文をつなげて1つの文にして、人やものについて詳しく説明することができるようになる。これにより、より複雑な英文の読み取りも可能になる。

単元の最後には、フェスティバルでの英語ボランティアに申し込むために、自分が得意なことや英語でできること、杵築市のよさや体験できることなどのアピールポイントを、既習の文法事項や語句などを生かしながら、関係代名詞を使って、自己PRカードを作成することをゴールとして設定する。

#### (2) 生徒について

昨年10月に実施した英検I B Aの結果では、英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」のうち、特に「読む」ことに課題が見られた。技能・分野別平均得点率を見ると、「読解」は40.9%で、他の分野に比べて低い。学級には、単語レベルでつまずく生徒や文構造が十分に理解できていない生徒など、学習レベルは様々である。また、多くの生徒にとって、英文を読む量が少ないことと、英文を読み取るスピードが遅いという課題がある。これについては、昨年3学期から取り組んでいる音読活動を通して、読める単語が増えた生徒や意味の区切れを意識して読むようになった生徒など、少しずつではあるが、生徒の「読む」力が身に付いているところである。

#### (3) 指導について

指導にあたっては、GETやUSE Readを扱う際、さまざま方法で音読させていく。一語読み、チャンクリピート、変換読み、オーバーラッピング等の方法を使って、生徒自身の力で音読できるようになることを目指したい。また、教科書の英文テキストの内容を生徒に深く理解させるために、英文に直接示されていない内容をたずねる推論発問や、自分の考えを述べる評価発問を取り入れたい。さらに、生徒自身に自分なりの目標を持たせた上で視写に取り組みせ、左から右へすばやく目を動かすことにより、読むスピードを意識しながら学習に取り組みせたい。このように、教科書の英文に何度も触れさせながら、内容理解を促すための様々な活動を取り入れることにより、生徒が英文を読むスピードを上げることに加え、英文にある語彙や表現を内在化させ、それらを使って自分が伝えたいことを話したり書いたりすることができるようになることを目指したい。

単元の最後の自己PRカードの作成では、既習の文法事項に関係代名詞の文を加えて、より多くの情報を入れた英文を書くことができるように、ICT等を活用し、生徒が自分の考えを発信したり、交流したりして、考えがより深まる工夫を行っていきたい。

### 3. 単元の目標

教科書の英文に様々な方法で何度も触れさせ、その英文にある語彙や表現を使った言語活動を繰り返し行うことを通して、自分の得意なことや英語でできること、杵築市のよさや体験できることなどのアピールポイントを入れた英語ボランティアガイド参加希望の自己PRカードを、既習の文法事項に関係代名詞（主格）を加えて書くことができるようにする。

### 4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉関係代名詞（主格）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〈技能〉英語ボランティアガイドに参加する上での自己PR文について、関係代名詞（主格）を用いて、書く技能を身に付けている。	英語ボランティアガイドに参加する上での自己PR文を書くために、事実や自分の考えを整理し、既習の文法と関係代名詞（主格）を用いて、まとまりのある文章を書いている。	英語ボランティアガイドに参加する上での自己PR文を書くために、事実や自分の考えを整理し、既習の文法と関係代名詞（主格）を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

### 5. 単元の指導計画と評価計画（9時間扱い）

時間	学 習 活 動	評価の観点		
		知・技	思判表	態度
1	○本単元の目標を理解し、見通しをもつ。 ○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。	○		
2	<b>【Get Part1】</b> ○教科書の文（ジンの夏休みの思い出）を聞いたり、読んだり、内容についての質問に答えたりして、理解する。	○		
3	○関係代名詞 <b>that, which</b> （主格）の意味や用法を理解する。 ○写真に写っているものについて、買った場所や特徴などを即興で話す。	○		
4 本時	<b>【Get Part2】</b> ○教科書の対話文（有名なアニメの話）を聞いたり、読んだり、内容についての質問に答えたりして、理解する。	○		
5	○関係代名詞 <b>who, that</b> （主格）の意味や用法を理解する。 ○さまざまな職業について、ペアでクイズの質問や答えを即興で伝え合う。	○		
6	<b>【USE Read】</b> ○日本の漫画やアニメが海外で出版・放映されるときに変更される点についてまとめるために、日本の漫画とアニメの海外進出について書かれた記事を読みながら、その内容を理解し、概要をとらえる。	○		
7	○日本の漫画やアニメが海外で出版・放映されるときに変更される点についてまとめるために、日本の漫画とアニメの海外進出について書かれた記事を読み、記事の概要を表にまとめる。		◎	◎
8	<b>【USE Write】</b> ○杵築市英語ボランティアガイドに応募するために、自分や杵築市のアピールポイントについて、事実や自分の考えを整理し、既習の文法事項に関係代名詞（主格）を加えて、まとまりのある文章を書く。（ロイロノート）	◎	◎	◎
9	○杵築市英語ボランティアガイドに応募するために、自分や杵築市のアピールポイントについて書いた文章を、クラスメイトと交流し、良い点や工夫点などを見つけ、自分のPRカードを改善する。	◎	◎	◎

（後日ペーパーテスト）

6. 本時案

- (1) 題 目 Lesson4 The World's Manga and Anime GET Part② 対話文の内容を理解しよう  
 (2) 本時のねらい 教科書の対話文の内容について、対話文を聞いたり、音読したり、内容についての質問に答えたりする活動を通して、理解することができるようにする。  
 (3) 展 開

学習活動	支援及び指導上の留意点	時間	備考 (*評価)
1 Greeting	○英語で挨拶をした後、数人と簡単なやりとりを行う。	3	
<b>【Today's Goal】 We can understand the dialogue.</b>			
2 Warming Up	○短い英文を読ませ、質問に対する答えにあたる部分に下線を引かせる。 ○解答用紙の英文を自分に合った方法で聞かせる。 (一緒に読む、発音を確認しながら聞く、日本語訳を見ながら聞くなど)	5	
3 Main Activity ①Listening	○絵や文字なしで、対話文を聞かせる。 ・聞こえた単語をノートにメモさせる。(日本語 or 英語) ・何を話していたかペアでシェアさせる。 ○アニメーションつきで対話文を聞かせて、さらに詳しい内容を聞き取らせる。 ・聞くポイントを与える。 ○新出単語を確認する。 ・定着していない既習の単語も板書し、確認する。	30	【知識・技能】 関係代名詞 (主格) を含んだ対話文の内容を理解している。〈ワークシート・観察〉
②Reading	○一語読み、チャンク読み、変換読みをする。 ○デジタル教科書を開かせ、オーバーラッピングさせる。 ○ワークシートを配布して、Q&A と T or F に取り組ませる。 ・日本語訳のあるものとないものを準備し、生徒自身に選ばせて取り組ませる。 ・机間指導で生徒の理解度を確認しながら助言する。 ・質問文の疑問詞、主語と動詞に着目させる。 ・答えの文を書くときに、代名詞にできる単語や省略できる箇所はないかを考えさせる。 ・答えをペアで確認させる。 ・対話文の内容についての質問に答えられたかを挙手により把握する。 ○事実発問、推論発問に答えさせる。		
4 Reflection	○ジンと花の会話の続きをペアで考えさせる。 ・英語にできない生徒は日本語で書かせる。→数人発表 ○振り返りをワークシートに記入させる。	12	